

地域・関係機関と連携した防犯対策事業

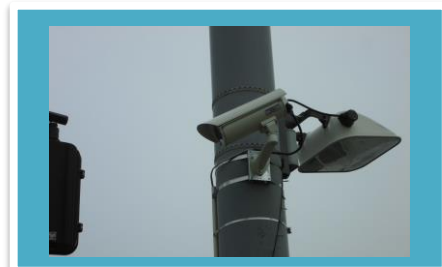
《これまでの取組み》

【目的】

- ・区民ひとりひとりの防犯意識の向上及び
防犯環境整備による街頭犯罪の減少

【取組み実績】

- ・防犯カメラ設置（30台）（平成26年度～）
- ・防犯灯設置（20基）（平成24年度～）
- ・防犯プレート設置（50枚）（平成29年度NEW）★
- ・防犯バナー設置（7枚）（平成29年度NEW）★
- ・警察署、地域と連携した区内防犯一斉行動の実施（平成24年度～）
（今年度の警察署連携は3地域（9月現在））
- ・自転車前かごひったくり防止カバー取り付け（12回）
- ・「26（ツーロック）の日」啓発キャンペーン（12回）
- ・ホームページ、フェイスブック、ツイッターでの情報発信



（防犯カメラ）



（2重ロックキャンペーン）

《現状・課題》

- ・街頭犯罪は減少傾向にあるが、自転車盗の占める割合が依然として多い。
- ・区内防犯一斉行動等について、各地域の防犯推進委員が中心となって活動いただいているが、様々な人が参加し、より広がりのある防犯活動が行われるための支援が必要



《平成30年度の取組みの方向性》

- ・より効果的な防犯環境の整備（防犯カメラ設置、防犯プレート設置、防犯灯等）
- ・警察署、地域、関係機関と連携した啓発活動の実施
- ・ホームページ、フェイスブック、ツイッターなどを活用したタイムリーな情報発信

地域・関係機関と連携した交通安全対策事業

《これまでの取り組み》

【目的】

- ・正しい交通ルールの周知、啓発
- ・交通安全に対する意識の向上
- ・交通事故件数の減少

【取り組み実績】

- ・子育て層への交通安全教室の実施
- ・高齢者への交通安全研修会の実施
- ・幼稚園児への交通安全教室の実施
- ・警察署・区内の学生と協働した
自転車マナーアップキャンペーンの開催
- ・スケアードストレート学習の実施（平成 27 年度～）



(子育てサロンでの交通安全教室)



(スケアードストレート学習)

《現状・課題》

- ・鶴見区の交通事故による死傷者の約 3 割は自転車が関わっている
- ・放置自転車も含めた自転車マナーの向上を図る必要がある



《平成 30 年度の取り組みの方向性》

- ・年齢層に合わせた交通安全教室の実施
- ・スケアードストレート学習の実施と、交通安全教室用記録媒体の作成
- ・警察署、地域、関係機関等と協働した啓発活動

区民の安全・安心を担う総合的な防災力の強化

《これまでの取り組み》

【目的】

- ・地震や風水害等の災害に対する自主防災力の向上と自助、共助意識の醸成
- ・区民、区役所、防災関係機関等の連携による災害に強いまちづくりの推進

【取り組み実績】

- ・鶴見区安全安心フェスタの開催（平成 22 年度～）
- ・防災競技会「つるみんピック」の開催（平成 25 年度～）
- ・各地域にトランシーバーの配備（平成 29 年度 NEW）★
- ・災害発生時にフェイスブックやツイッターでの情報発信



（防災競技会「つるみんピック」）



（安全・安心フェスタ）

《現状・課題》

- ・各地域で自主防災の取り組みが行われているが、防災意識の更なる向上が必要である
- ・区民ひとりひとりの防災意識の向上が必要である
- ・区災害対策本部と地域の防災組織との連携強化を図る必要がある



《平成 30 年度の取り組みの方向性》

- ・防災訓練等の支援、防災資機材の配備による地域防災力の向上
- ・地域防災リーダーの育成と認知度アップ（つるみんピック）
- ・多くの区民が参加し、防災について学ぶ場の提供（安全・安心フェスタ）
- ・ホームページ、フェイスブック、ツイッター等を活用したタイムリーな情報発信